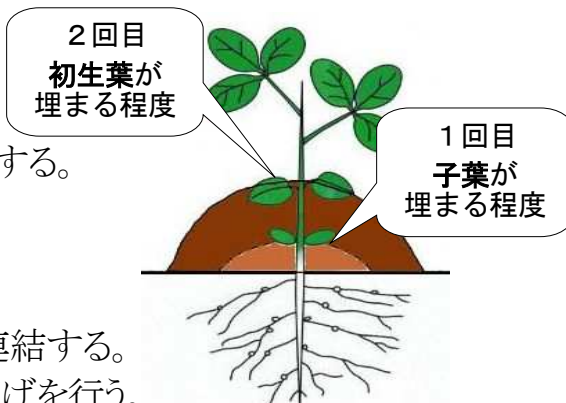


1 培土

- ・1回目は本葉2～3葉期(播種 20～25 日後頃)に、
2回目は本葉4～5葉期(播種 30～35 日後頃)に実施する。
- ・培土は株元までしっかりと土をかける。



2 排水対策

- ・培土でできた溝は、速やかに額縁排水溝と排水口に連結する。
- ・生育期間を通して、排水溝の手直しや排水口の掘り下げを行う。

3 雑草防除

- ・草種や発生状況に応じて、適切な除草剤を選択し、遅れずに散布する(下表)。
- ・散布の際は、飛散の少ないノズルの使用や風の弱い時間帯を選ぶなど、周辺作物への飛散に注意する。

表 生育期間中に使用可能な除草剤

種類	散布方法	薬剤名	雑草の種類	10a 当たり散布量	注意点
選択性	全面散布	ポルトフロアブル	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラ除く)	200～300ml 希釈水量 100ℓ	・散布は2回まで ・イネ科雑草3～10 葉期まで ・収穫 30 日前まで
		大豆バサグラン液剤	1年生雑草 (イネ科を除く)	100～150ml 希釈水量 100ℓ	・散布は1回のみ ・大豆2葉期～開花前まで ・ <u>著しい高温時や、大豆が生育不良の場合は使用を避ける</u>
非選択性	畦間・株間散布	ロロックス	イヌホオズキ類	100～200g 希釈水量 100ℓ	・散布は 1 回のみ ・大豆3葉期～収穫 30 日前まで ・株間処理登録あり
		バスタ液剤	1 年生雑草 雑草全般	300～500ml 希釈水量 100ℓ	・総使用回数は両剤合わせて3 回以内 ・収穫 28 日前まで ・バスタ液剤は大豆5葉期以降、株間処理登録あり
	畦間散布	ザクサ液剤			

※非選択性除草剤は、吊り下げノズルを使用し、大豆にかからないように散布する。

（畦間散布…大豆にかからないように散布
株間散布…大豆の葉にかからないように散布

「適期・的確な2回培土と除草剤散布」で雑草を防除！

【お問い合わせ先】

JAいみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478
JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>